

外国人受入れに関する取組・日系人支援

外務省では、地方自治体が直面している生活者としての外国人住民の問題に関して、外国人の出身国とも密接に協力しているが、次のような取組や支援を実施

意識啓発

◎外国人問題に関する国際シンポジウムの開催(計5回)

2005年より外国人問題に関する国際シンポジウムを開催し、諸外国における外国人の受入れについての経験や知見を紹介し、外国人受入れ政策のあり方等について議論(各シンポジウムにおける当日配布資料、発表資料は、国際移住機関(IOM)のホームページ<http://www.iomjapan.org/news/index.cfm>参照)

在留日系人支援

◎JICAによる在留日系人支援

(1)日系人の生活相談窓口での支援

日本語に不慣れな日系人を支援するため、地方自治体の外国人相談窓口と連携し、日本語の堪能な日系人を相談補助員として配置(33カ所・約50名)

(2)日系人に対する日本語教育支援

元JICAボランティアを国際交流協会主催の日本語教室の講師として派遣、日系人を対象とした再就職のための日本語講座、児童を対象とした日本語研修等を実施する元JICAボランティアの活動を支援

(3)「在日ブラジル人教育者向け遠隔教育コース」への側面的支援

在日ブラジル人学校の教員等が日本国内においてブラジルの初等教育教員免許を取得するための通信教育に対して、JICA施設の無償利用など側面的支援を実施

(4)介護の仕事に関する技術研修

NPO法人に委託して、失業した日系人(20名)を対象に、日本語学習と介護研修を実施

日本語教育、人材育成

◎日系人を対象としたJICA事業

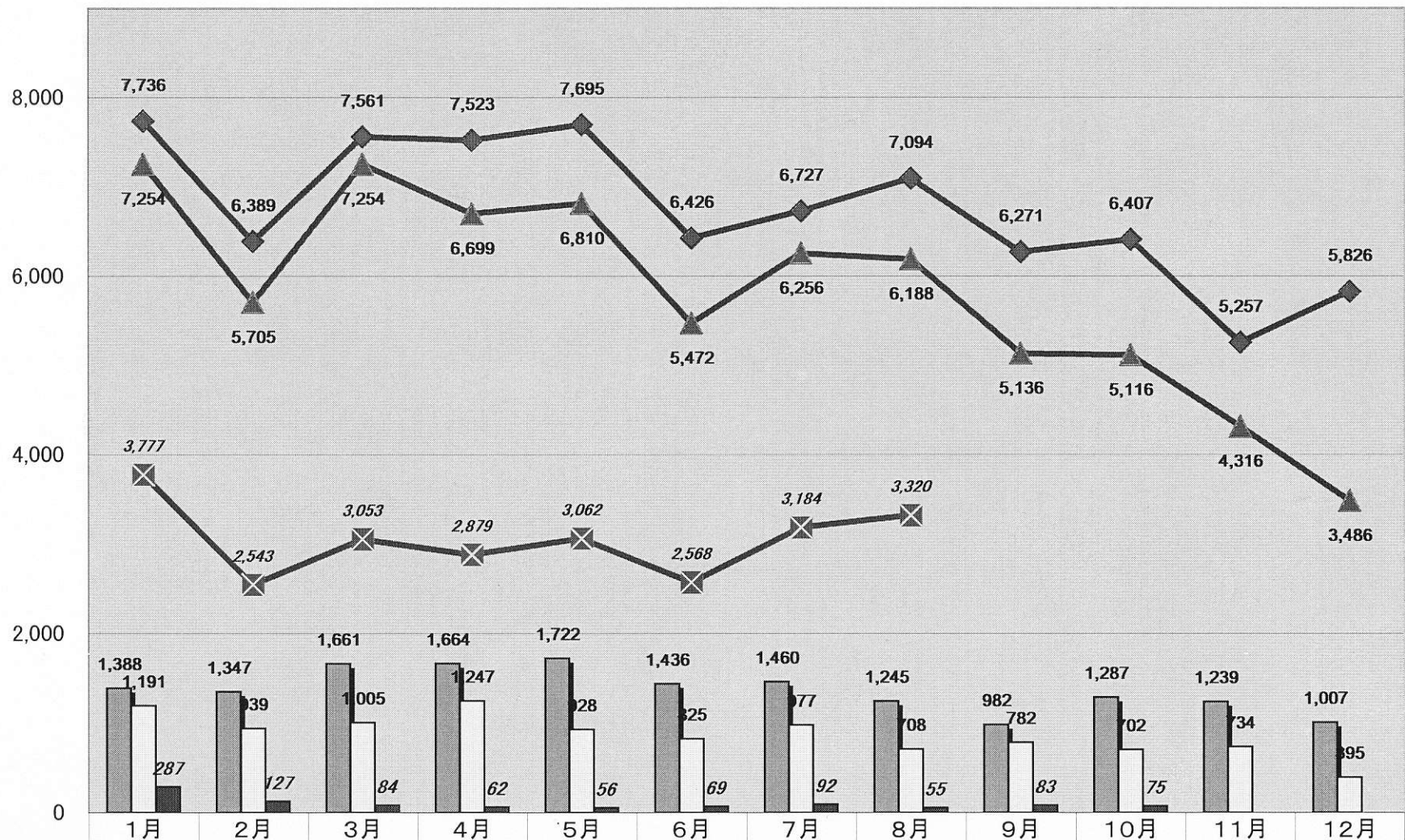
(1)「現地教員特別参加制度」

日本国内の国公立学校の教員を中南米諸国の現地政府公認校へ派遣し、日本語指導や日本の文化等を紹介

(2)「日系社会リーダー育成事業」

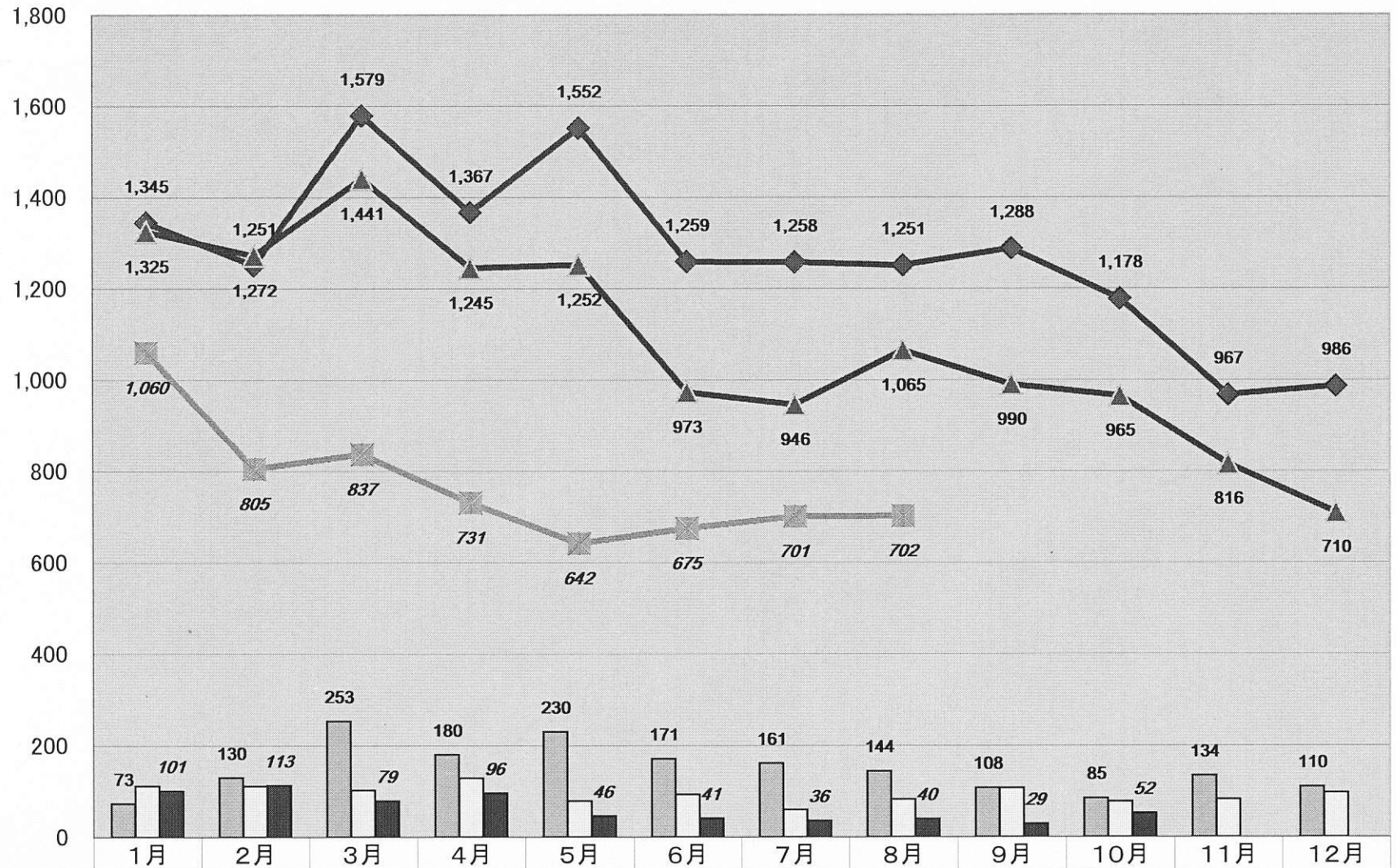
日本の大学院に留学する日系人に対して、滞在費・学費などの側面的な支援を実施

ブラジル人に係る入国状況及び査証発給状況



2007年 定住査証発給数	1,388	1,347	1,661	1,664	1,722	1,436	1,460	1,245	982	1,287	1,239	1,007
2008年 定住査証発給数	1,191	939	1,005	1,247	928	825	977	708	782	702	734	395
2009年 定住査証発給数	287	127	84	62	56	69	92	55	83	75		
2007年 入国者数	7,736	6,389	7,561	7,523	7,695	6,426	6,727	7,094	6,271	6,407	5,257	5,826
2008年 入国者数	7,254	5,705	7,254	6,699	6,810	5,472	6,256	6,188	5,136	5,116	4,316	3,486
2009年 入国者数	3,777	2,543	3,053	2,879	3,062	2,568	3,184	3,320				

ペルー人に係る入国状況及び査証発給状況



■ 2007年 定住査証発給数	73	130	253	180	230	171	161	144	108	85	134	110
□ 2008年 定住査証発給数	112	111	102	129	79	93	60	83	107	78	82	97
■ 2009年 定住査証発給数	101	113	79	96	46	41	36	40	29	52		
◆ 2007年 入国者数	1,345	1,251	1,579	1,367	1,552	1,259	1,258	1,251	1,288	1,178	967	986
▲ 2008年 入国者数	1,325	1,272	1,441	1,245	1,252	973	946	1,065	990	965	816	710
✖ 2009年 入国者数	1,060	805	837	731	642	675	701	702				